

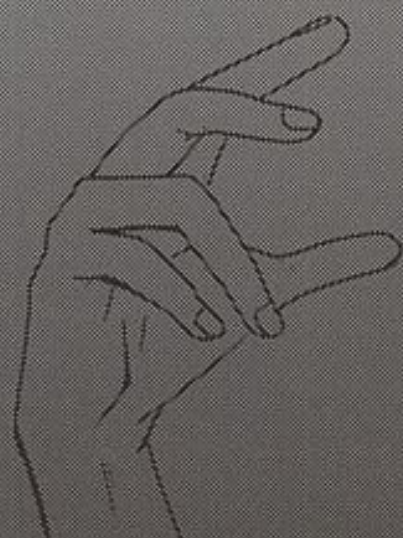
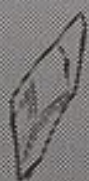
R18



HARMONIUS 4



落ちる



底の見えない空へ落ちていく

手を伸ばしても

泣き叫んでも

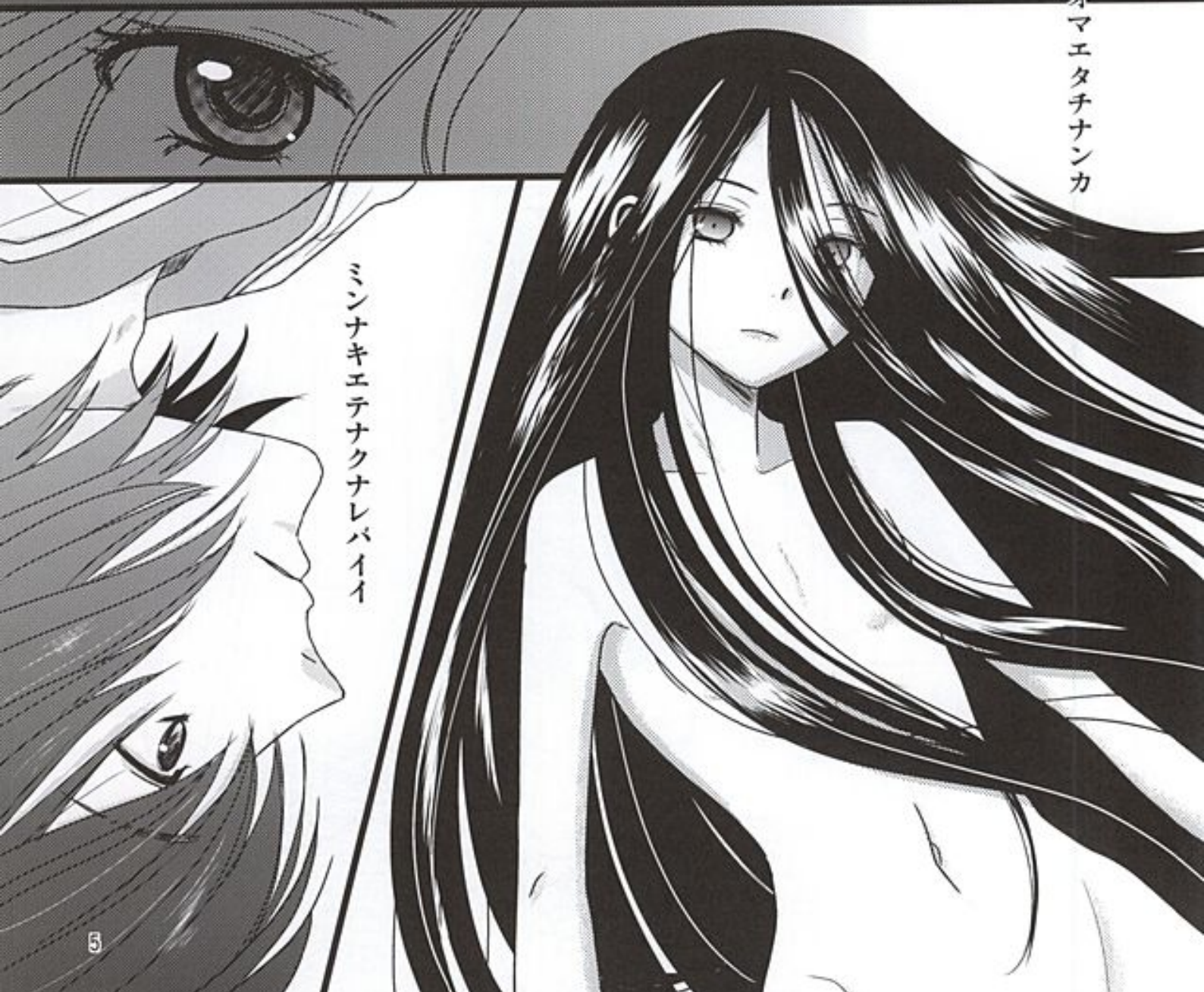
誰も助けてなんてくれない

ただ悲しみと絶望の中へ
落ちていくだけ



オマエタチナンカ

ミンナキエテナクナレバイイ





あなたにも
客観的な事実を
知ってほしい



私がした事で
世界がどうなったのか

私が何をしたのか



—ソル・シエール史?



ミュール……

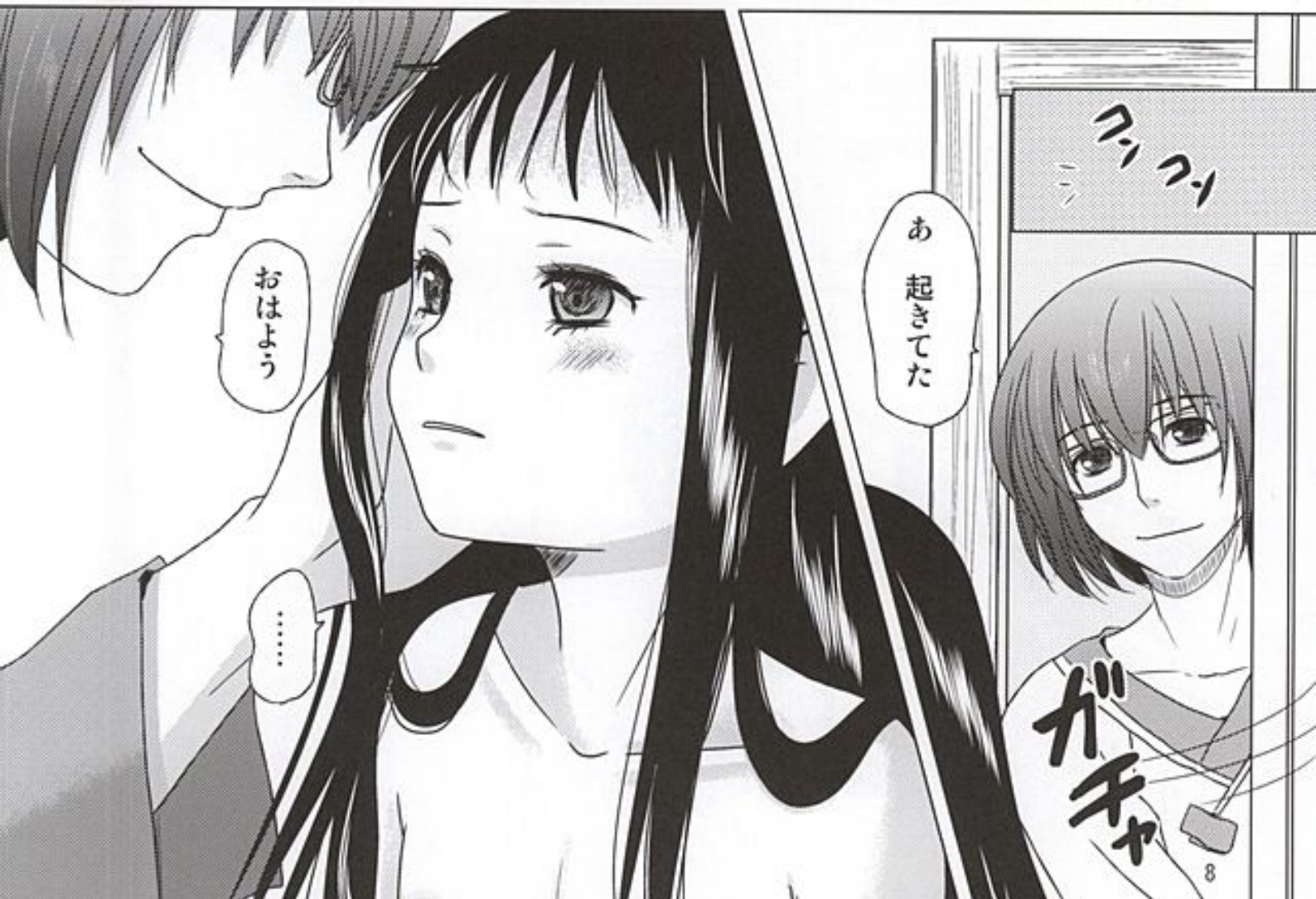


……ん



誰が君を裁いて

誰が君を赦すんだ……？





ほら
シーツ洗濯するぞ

……ん……

?
どうした?

……別に……
何でもない



昨日のことが全部夢だったみたい

クロアの態度はいつもどおりで

もっと激しく動揺したり
いつそ最低な人殺したと罵ってくれれば

それで……なんなの？

そしたら私は満足するの？

私のコスモスファイアを見て

私の犯した罪を知って

それでも私を全部受け入れると……

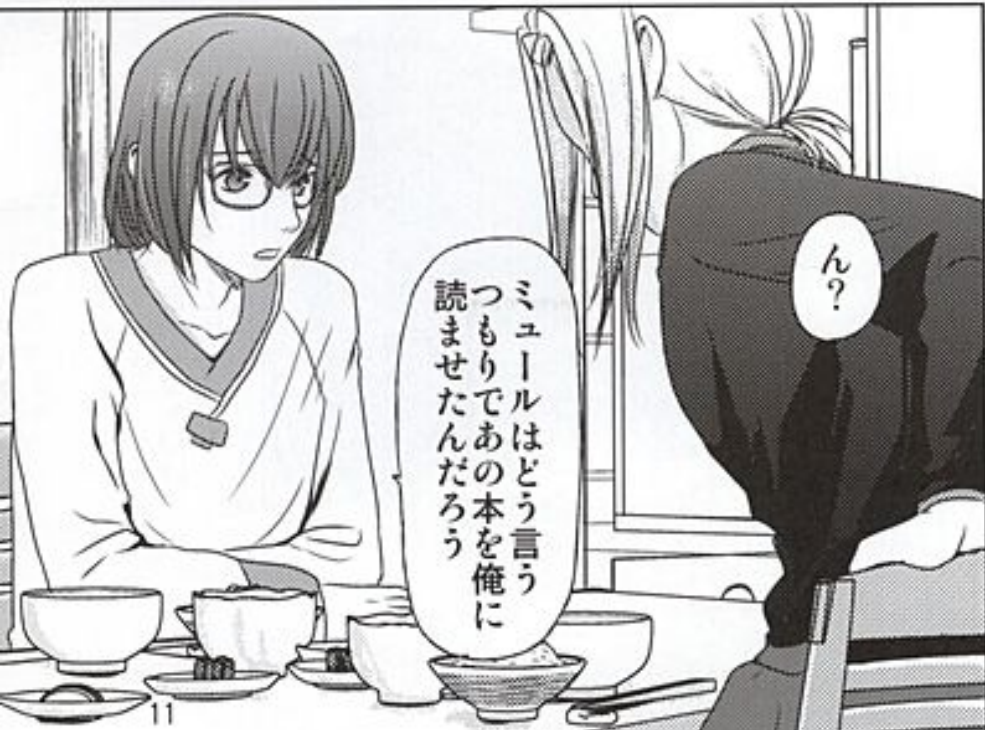
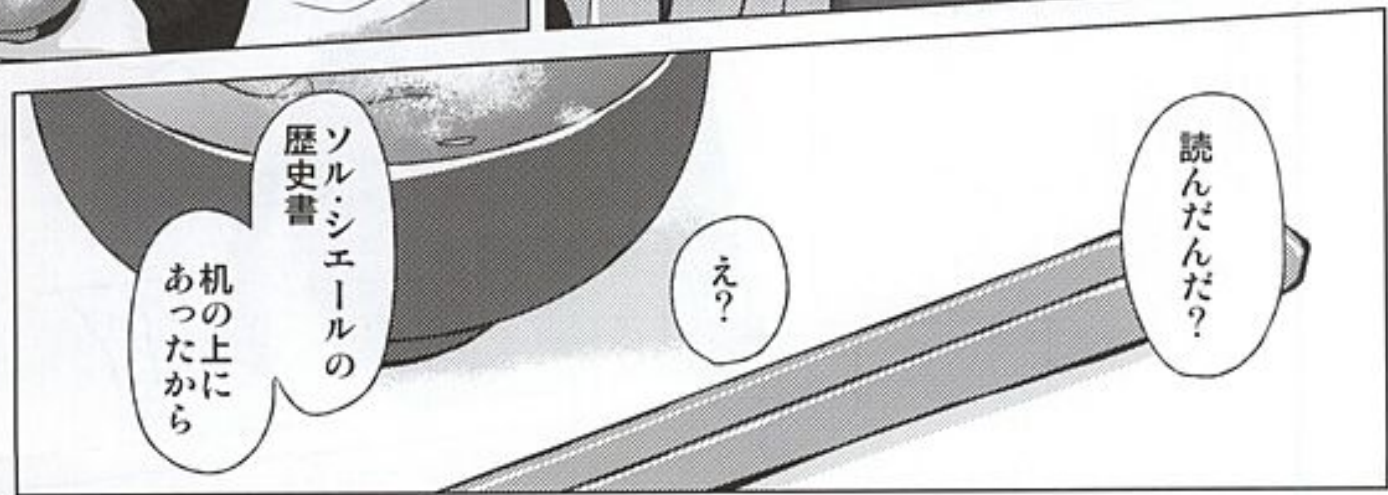
逃げたりしないと
クロアは言ってくれたのだ……

クワクワ

クロアくん
今日の朝ごはん……

ガチャ

私は何度同じ場所を行ったり来たり
繰り返しているんだろう





別に俺を試してるわけじゃないって言われたけど……

無理しなくていいとか言われるし逃げてもいいとか言われるし

今朝も何も気にしてないフリしちゃったけど

実際のところ俺にどうしてもらいたいんだらうって……

あ 悪い
こんな事アヤタネに
訊くものじゃないよな

僕の事信頼してくれてる証拠だと思っておくよ



何となくだけどね

僕には混乱してるように見えるんだ



母さんはなかなか本心言わない人だけどねでも嘘を言ってるわけでもないと思うから

うん……

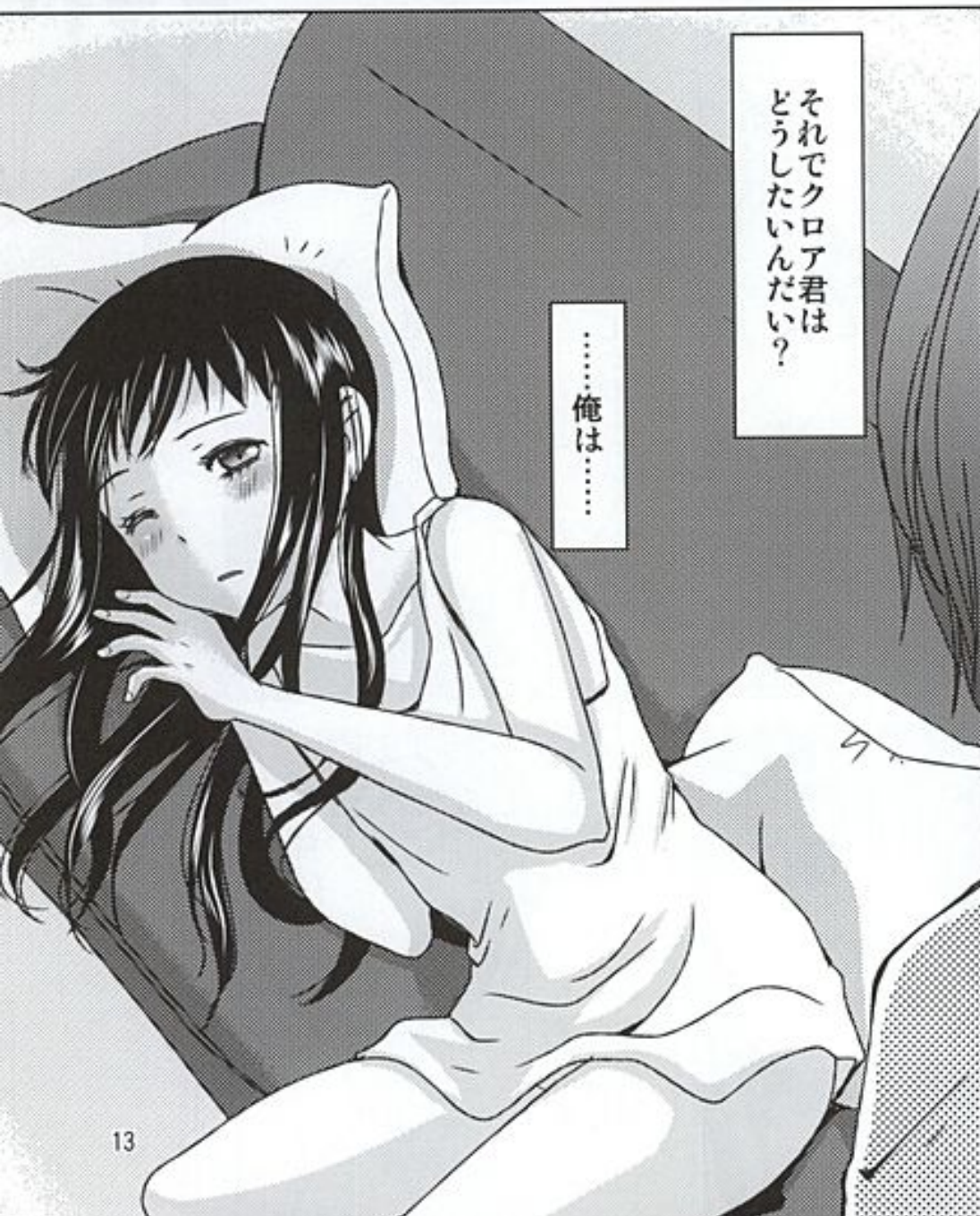


本当はクロア君も
分かってるんじゃないかな？

何だよそれ

混乱？

簡潔に言えば
クロア君の事が
大好きだから
困ってるんだね



それでクロア君は
どうしたいんだい？

……俺は……





君と同じ明日を
生きたくて

俺はただ



少しでも君の心に
寄り添いたくて

一緒に作ると楽しいね

俺には何もできないのは
わかってるけど



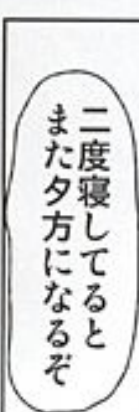
……冗談よ
お昼から用も
あるし起きるわ



ええ
えーと……



……あなたが昨夜
激しかったから
まだ疲れてるの



二度寝してると
また夕方になるぞ





……もう帰り
たくなかった？

そりゃ帰りたくない
言ったら嘘になるけど
その時はミユールも一緒だぞ



……今ね

シュレリアと
塔間ネットの
整備を始めてるの

設備が整えば
メタ・ファールスとも通信
できるようになるし
交流も始まると思うわ

そしたらあなたも
少しは寂しくな
るでしょ？

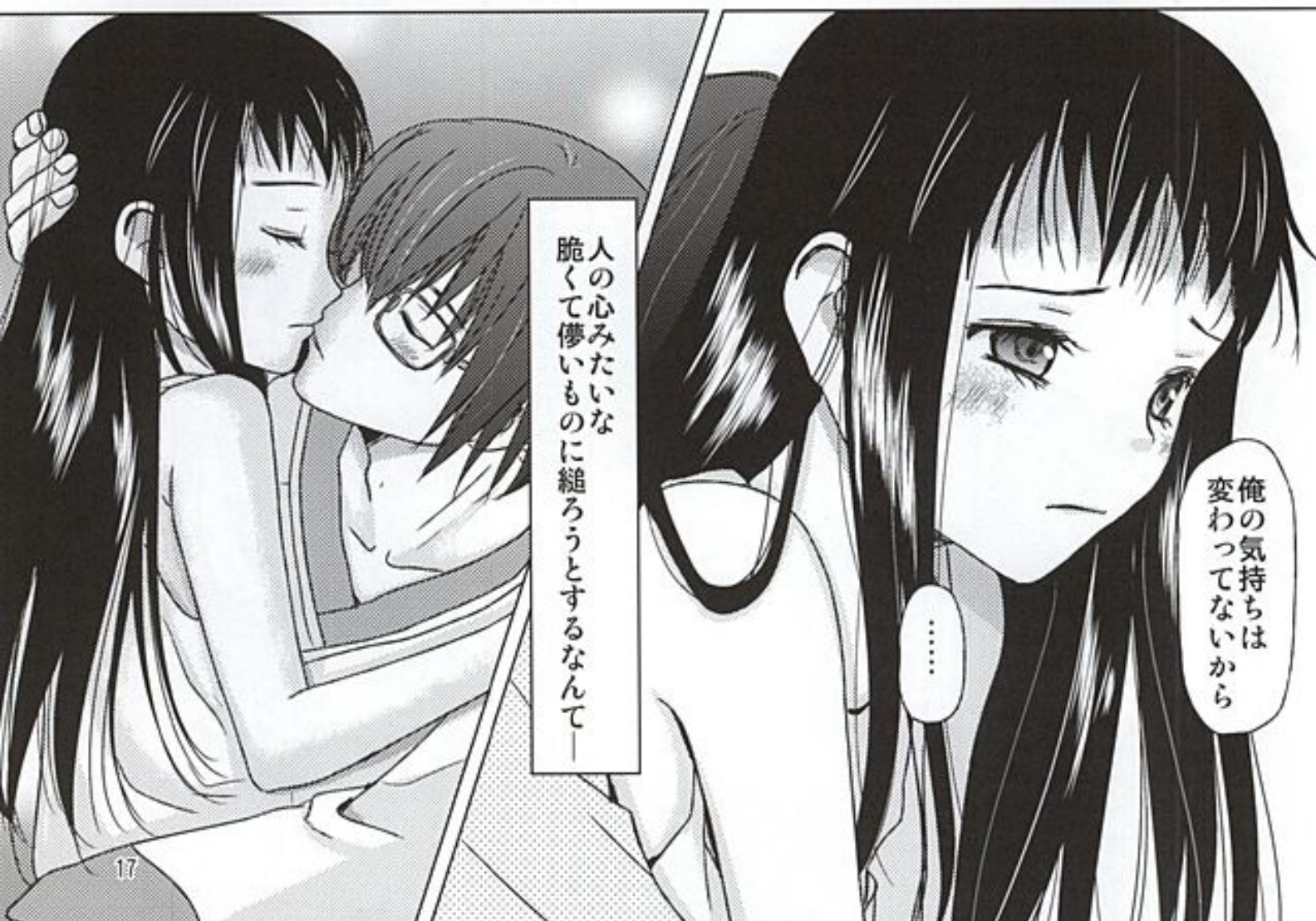


……うん
ありがとう

あ
別に今寂しいなんて
思ってるじゃないからな！

だから無理
しなくていいって
言ってるでしょ

それはお互い様
だと思うけど





あなたの存在が私の中に
深く深く食い込んでいくことに

私の城壁がひび割れていく



—それで
近々天覇の技術者を
派遣して……



気をつけてな

ニンゲン達だって
ミュールと言う罪悪を赦すわけない



ニンゲンなんて大嫌い



もう……さっき渡した資料に塔間ネット整備計画の詳細は全部書いてありますから

帰ったらちゃんと読んでおいてくださいね

あなたの協力が必要なんですからしゅきっとしてください!



……ミュール聞いてますか?

え?
何?



……そうかもね……



はいはい

……ミュール最近ずっとヘンですよ昨日もずつとうわの空で



何かあったんですか? 具合でも悪いとか

別に何となく気分が乗らないだけ

何もないならいいんですけど……

……ねえあれから何か変わったことあった?



それは関係ない現象
だと断言するわ

そうですね……
私はあれから2回
塔の中で迷いました



変わったこと……

先日のバイナリ野の
ことですか？



うう……
修復するからちゃんと
教えてください……

修復はして
おいたわよ

ただ……



何で勝手に侵入
するんですか！

一応アヤタネにも軽く
覗いてもらったんだけど
やっぱり何も見つからなくて

そりゃ穴があつたら
入ってみたくなるのが
人情ってものよ



ただ？



……分かりました
私も引き続き調査を
継続します



今までなかった穴だから
やっばり何か内部に
いるかも知れないわ



そうですね
その時はまた
お願いします

何ならアヤタネ
貸すわよ

デジタルの領域
ならあの子の方が
自由に動けるし



フレリア?

はい

そうだ
先日フレリアから
あなたのこと聞きましたよ

これでもう用は
済んだわね

じゃあ私帰るから



大きくはないけど
結構良いところよ

……いつか新大陸メタファルスに
行ってみるといいわ

ただいま



メタファルスではあなたに
随分助けてもらったと
とても喜んでいました

お礼が遅くなりましたが
妹とメタファルスの人達に
協力してくれてありがとう
ミュール





ああ

明日は休みだから

何かあるのか？

あの本
返しに行くから
付き合っ

もう読み終わった
でしょ？



……ねえ

クロアは明日ヒマ？

いや全然
違うだろ……



……あの本

俺あんまり
好きじゃない

まだ読み足りない？

……



そりゃただの記録だもの
面白いことが書いてある
わけでもないし

……ミユールがした
事は書いてあるけど

ミユールがされた事は
何も書かれてなかった



.....
あなたが私を想って
くれるのは.....

その.....
嬉しくないわけ
じゃないわ.....



でもあなたは
ソルシエールの
歴史を知らないから.....

.....うん



.....ニンゲンには
必要のない情報だから
書かれてないのよ

同情は不快だわ

前にも言ったでしょ



あなた自身のためにも
.....ちゃんと知って
ほしかったから.....

.....この地での私は
忌むべき存在.....

恐怖や憎しみの
対象でしかないの.....

だから.....



……するいわ……

そんな謝り方……



……ごめん

信じてほしいって
言いながら不安に
思わせてたんだったら
俺の努力不足だ



前にも言ったみたいに

どんなに近くに居たって
俺たちは他人同士だから

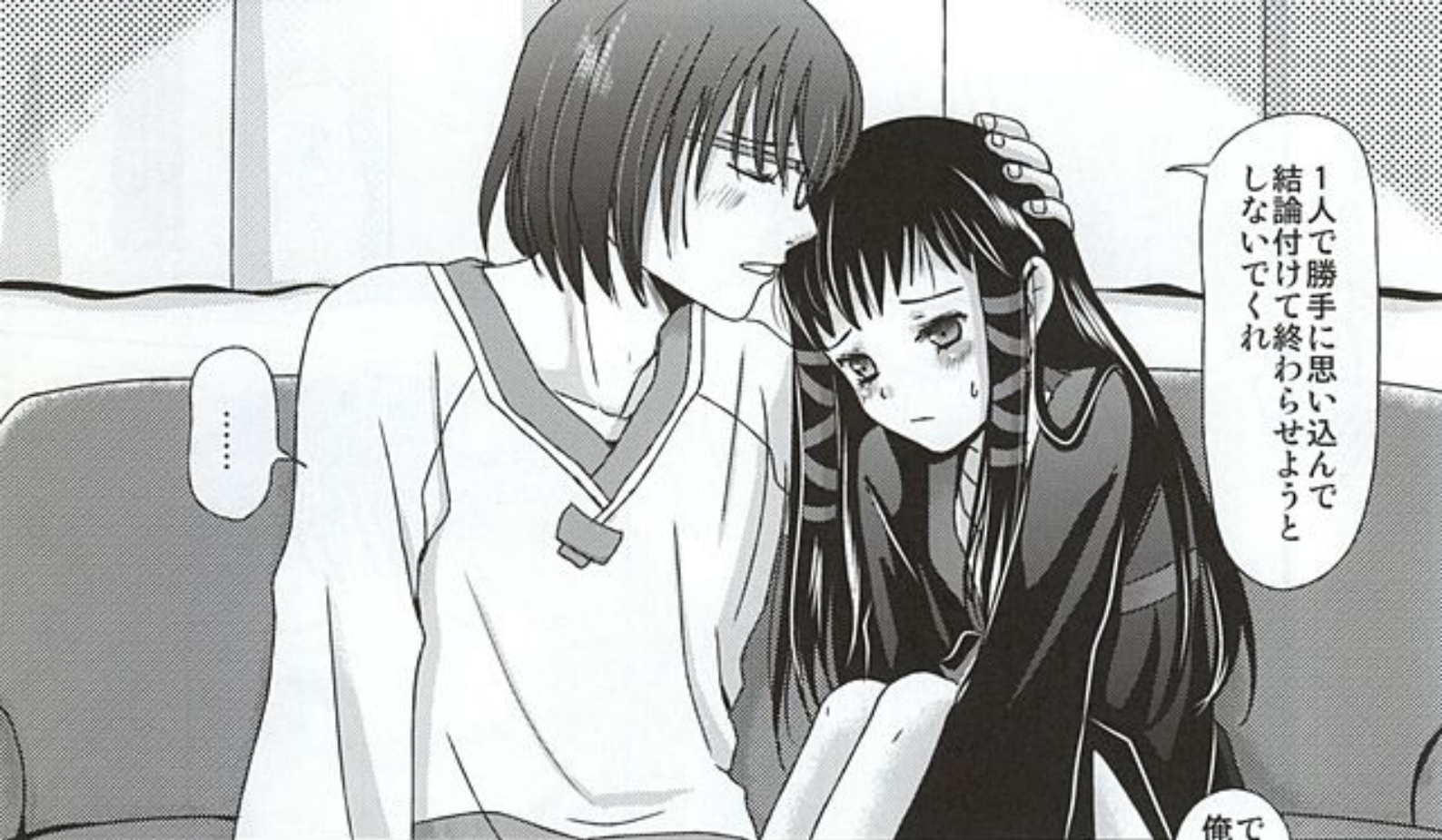
何もかも分かり合う
ことは無理だけど

分かり合うための努力は
できると思うんだ



……ミユールはさ

嘘はつかないけど
本当に大事なことも
言ってくれないから



一人で勝手に思い込んで
結論付けて終わらせようと
しないでくれ

……

でも一応ミュールなりに
俺の事心配してくれてて

俺自身に選択の余地を
与えてくれてるって
事は分かったよ

……ホジティブね

悲観的になる
よりはいいだろ



もう帰って
るんだけどね……



そろそろアヤタネも
帰ってくるし
夕飯作らないとな

んっ



……あ

早帰りだったのに
うたたねしてたら
もうこんな時間だ



散り散りに引き裂かれるような痛みを覚えるの

私の心は今まで知らなかった
喜びに満たされると同時に



んあっ……



あ……ッ

あんっ

あなたの想いに触れるたび

あ……ッ
あ……ッ
あ……ッ



だめ...
もうっ...

あっ
クロアッ...

ビッ

ビッ

ビッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ



くううんっ...!!

あうッ...!!

ガッ

ガッ

ガッ

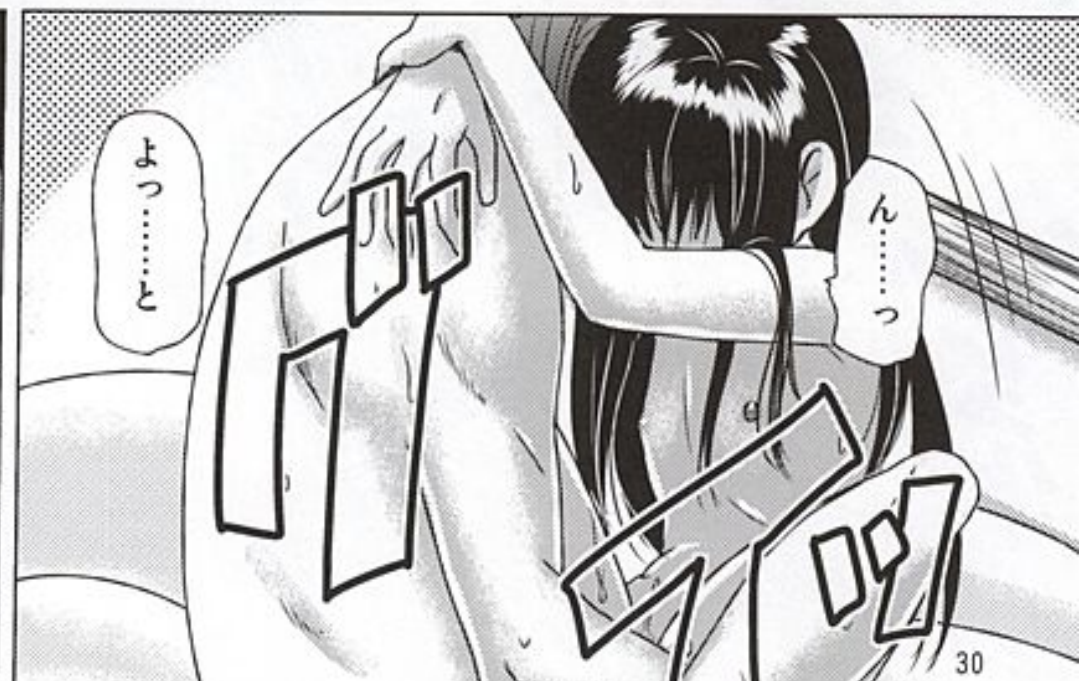
ガッ

ガッ

ガッ

グッ

グッ





だったらいいんだけど

……大丈夫よ嫌ならしないわ

でもミュールに無理させるのはいい気分しない

気持ちいいよ

気持ち良くない……？

ん……

……ミュールキツイんだったら無理しなくていいんだぞ

カッ

クワッ

私に優しくしても何のメリットもないのに……

……クロアは優しいわね

クワッ……



ミュール……

そうね……
戦争にでもなったら
また話は別だけど

世界最強の
レーヴァテイルが
パートナーなら
英雄になれるわ



……
それは……

……本当にそう
思ってるのか？



君は戦争のための
兵器じゃない



打算で接してる
わけじゃない
それに



君は……
一人の女の子だから

……



悲しいことや
辛いことを
たくさん経験して

色んなものを一人で
胸に抱え込んで

誰にも助けを求めよう
ともしなくて……

言葉だけでは
何度言っても
伝わらないかも
知れないけど

俺にとっては……
普通の女の子なんだよ

クロア……



普通の基準が
分からないし

普通じゃない私に
付き合えるならあなたも
普通じゃないわね

それもそうだな

……訂正
ちよつと普通じゃない

……



あ!!

あ

「好き」と言う感情から生まれてくるんだらう

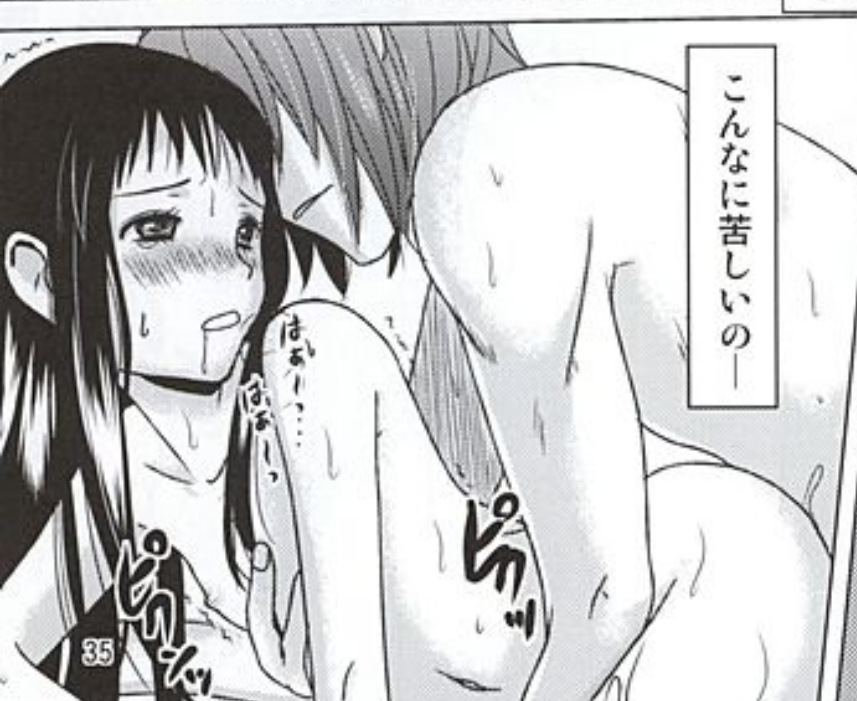


……好きだよ
ミユール

……ん……

きつと この苦しい気持ちは

ギョッ
ギョッ







んっ

んう……

ピチッ

ハハッ

はぁ……

はぁ……

クロア……

ほんの「腰」でも永遠を夢見てしまった時から

ブルブルッ……

クチャ

クチャ

きつと「私」の崩壊は始まっていたんだ

ゼンブ コワレテシマエバイイ

いつか

怒りや憎しみに任せて

あなたを傷つけてしまう
ような事があったら――

人が多い場所は
疲れるわ……

どこかでお茶でも
飲んでいこうか？

早く帰りましょ

本も返したしもう
用は済んだじゃない

せっかくちやんと
オシヤレしてきたんだし
もう少しゆっく

だからこの服は
アヤタネが勝手に
買ってきたもので
私は別に……

ミーウーちゃん！



オリカ

二人とも久しぶり！
何なに？デート？

大声で呼ばないでよ
恥ずかしい……

荷物持ちに付き合っ
てもらっただけよ

ふーん

そんな可愛いカッコ
しちゃってるのに
デートじゃないんだー



うるさいわね！

オリカも珍しい
格好してるな

これ？
あたしの故郷の服なの
可愛いでしょ



このカッコでオルゴールの
売り込み行くと結構興味
持ってもらえるんだよ

へー
じゃあ今も仕事の
途中なんだ？

うん さっきまで
お姉ちゃんのお店で
実演販売してたの

でも酔っ払いに絡まれて
大変だったよお

たまたま教会の騎士が
来たから助かったけど

あなただったらそんなの
簡単な詩で一撃でしょ

そりゃあたしが謳えば
すぐ終わると思うけど
街の中で許可なく魔法は
使っちゃ駄目って決められてるから

あなたも元は教会所属の
レーヴァテイルでしょ？

それに最高権威の
ラードルフがいるじゃない

教会のレーヴァテイルでも
騎士隊の指示がなければ
謳っちゃ駄目なの
すっごい不便だけど
決まりだから仕方ないんだ

それにあたし達が何か
やらかしてラードルフの
耳に入ったらますます
老けちゃうし

人間にしか決定権が
ないなんて馬鹿にしてるわ

それだけレーヴァテイルの力は強大で

力のない人間にとっては脅威なんだよ

優れたレーヴァテイルなら一人で一個師団を簡単に壊滅させられるくらいの力を持つてる

人間は自分達よりレーヴァテイルの方が力があると分かっているから……

どこかに畏れの気持ちがあるから……

だから厳しい決まり事を作って無意識のうちに自分の身を守ろうとしてるんだ



クロアが謝る事ないよ

この街でみんなが仲良くやってくれたために大事な事だって分かっているから

あたしたちは全然大丈夫!



……クロア……

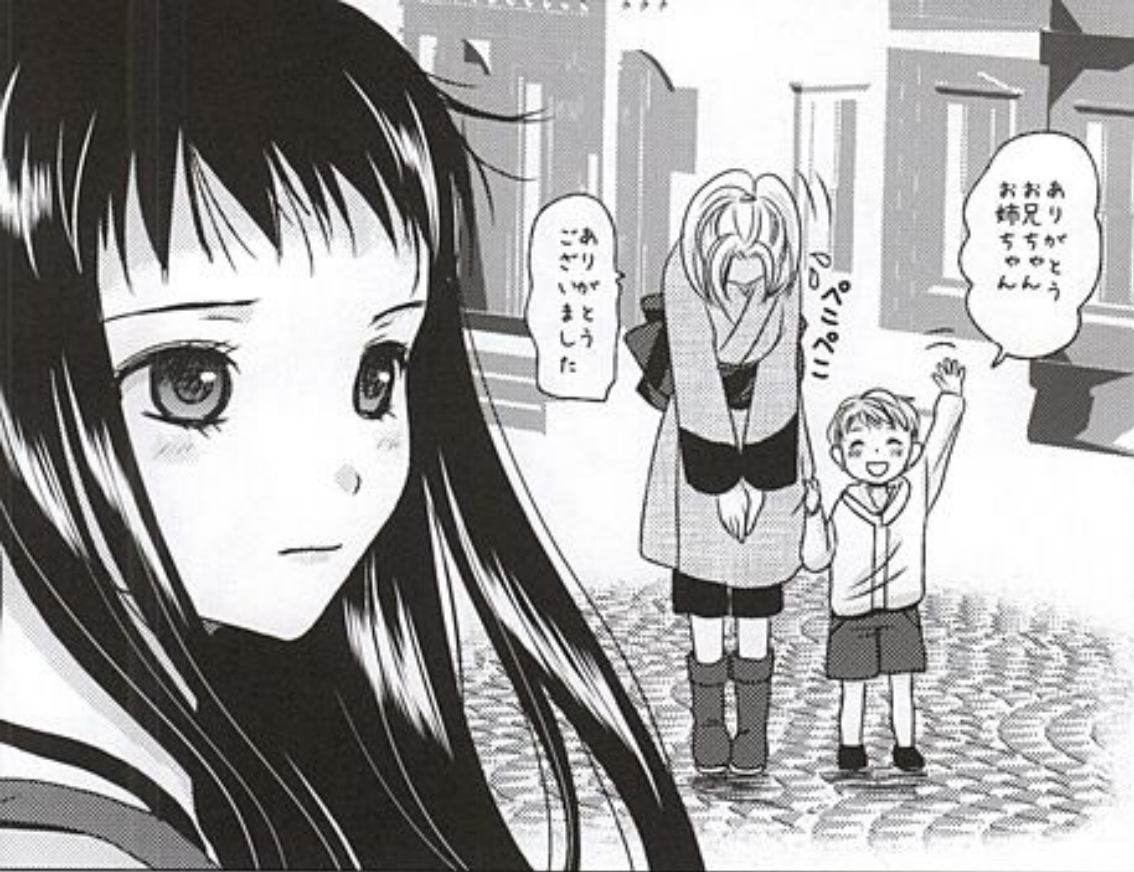


これは俺たち人間の身勝手だと思う

不自由な想いをさせて申し訳ない









っ……
このクソガキが……!



何よ!
あいつが全部
悪いんじゃない!

分かった!
分かったから
落ち着け!

ジャクリ!



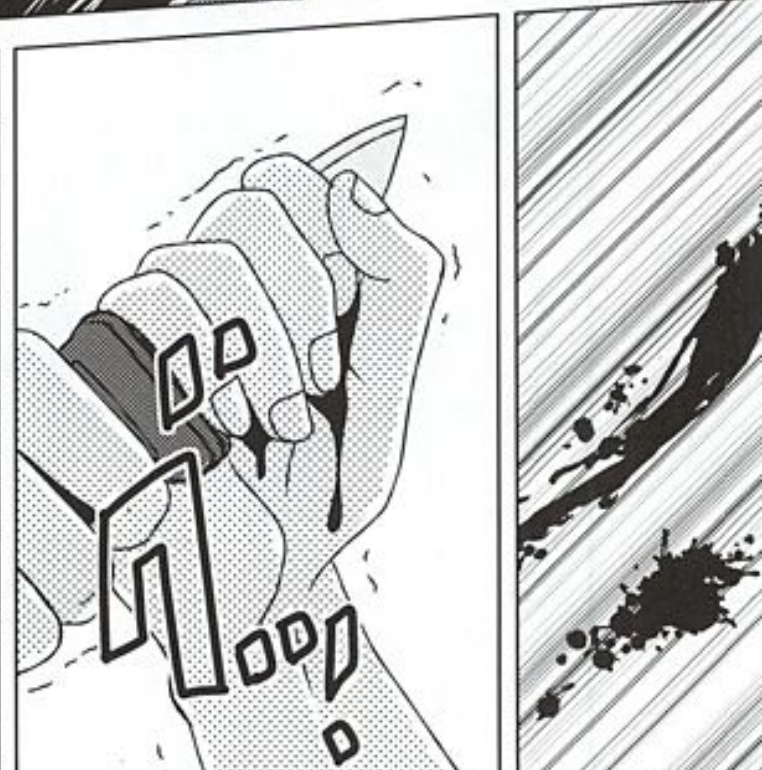
二度と謳えない
ようにしてやる!

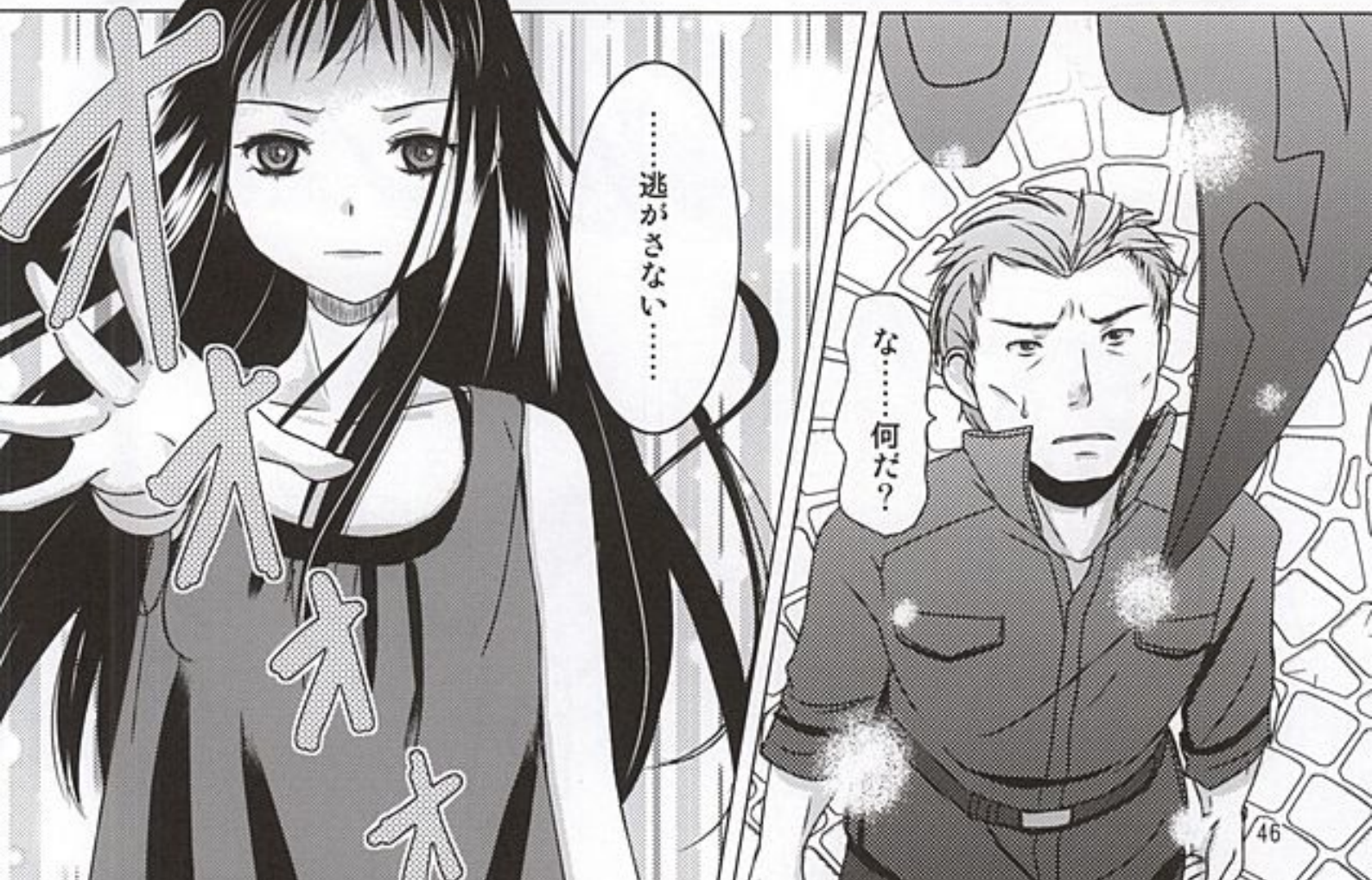


くっ……!

クローア!

っ……







薄汚いニンゲン……

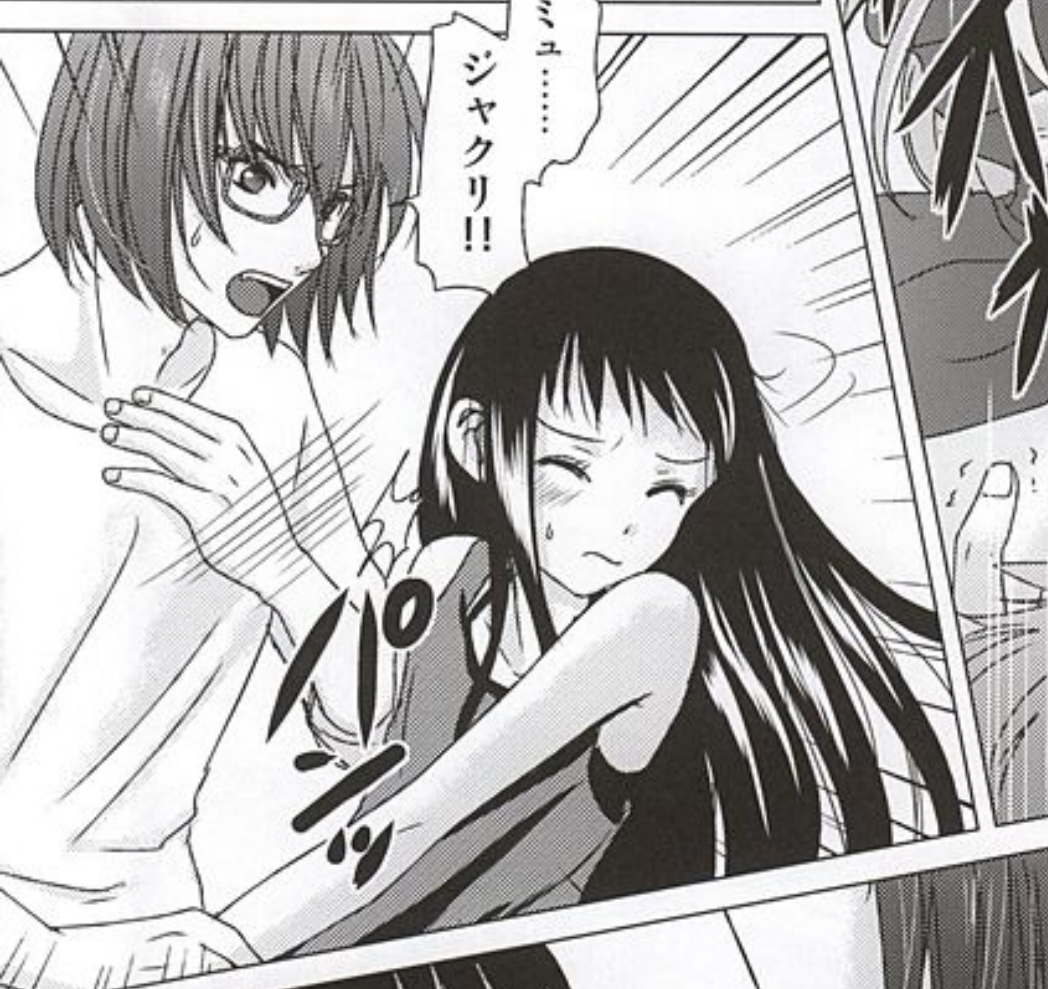
ひいッ……!?

切り刻んでやろう……

オ
オ
オ
オ
オ

やめろ……

……





to be continued

HARMONIUS 4

inudrill.

